

| | | | | |
|------------|---|---|---|---|
| 教科名 | 地理歴史 | 科目名 | 世界史A（3年次）【2単位】 | |
| 授業形態 | 講義形式 | | | |
| 選んでほしい生徒 | 2年次に世界史A・世界史Bを履修していない生徒（3年次） | | | |
| 科目の目標 | 近現代史を中心とする世界の歴史を学び、これからの課題を多角的に考えることを通じて、国際社会で主体的に生きる力を養う。 | | | |
| 身に付けてほしい学力 | 1 社会人として必要とされる程度の世界の歴史、特に近現代史に対する理解を深める。 2 時事問題に関心を持ち、それに対する自らの考えを適切に表現することができる力を養う。 | | | |
| 学習計画 | 単元・教材 | | 学習のあらまし | |
| | 【1学期】 1 アメリカとフランスの革命 2 産業革命 3 19世紀の欧米世界 4 アジア諸国とヨーロッパの進出 【2学期】 5 帝国主義と世界の変容 6 急変する人類社会 7 第一次世界大戦と民族主義の展開 8 ファシズムの台頭と第二次世界大戦 【3学期】 9 米ソ冷戦とアジア・アフリカ 10 地球社会への歩みと日本 | | <ul style="list-style-type: none"> ・18世紀後半に、政治面でアメリカ独立革命とフランス革命、経済面で産業革命を経て、資本主義が確立したことを学習する。 ・20世紀前半に、植民地や勢力範囲を争奪する世界大戦が2度も戦われたことを学習する。 ・20世紀後半に冷戦が展開された過程と、その後に明らかになった人類的課題について学習する。 | |
| 評価の観点・評価方法 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 資料活用の技能・表現 | 知識・理解 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・近現代史を中心とする世界史の知識をもとに、人類の課題を世界的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前近代史について、諸地域世界の歴史的特質と交流の様相を把握し、近現代史を理解するのに必要な基本的知識を身に付けているとともに、近現代史を中心とする世界の歴史について、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 |
| | 上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。 | | | |
| 学習のアドバイス | 1 世界史は決して「よその国の話」だけではありません。日本との関係を意識しながら学習すると、楽しくなると思います。 2 この授業をとおして、「歴史を学ぶ」だけでなく「歴史から学ぶ」面白さを感じてもらえればうれしいです。 3 定期考査は、授業内容をきちんと理解し、入念な準備をすれば高得点がとれるはず。しっかり取り組んでください。 | | | |
| 教材費 | 教科書 約700円 | | | |
| その他 | 大学受験等には対応していない科目なので注意してください。 | | | |